

## 会議録

会議録	平成25年度 第2回豊田市公共交通会議
次 第	<p>1 開 会</p> <p>2 会長あいさつ</p> <p>3 議 事</p> <p>【協議案件】</p> <p>(1) 鞍ヶ池公園園内周遊バスの車両変更について</p> <p>(2) バス停の移設及び運行ダイヤの修正について</p> <p>◆ 稲武地域バス</p> <p>(3) バス停の変更を伴わない運行経路の変更について</p> <p>◆ つくばねバス</p> <p>(4) 運行距離の変更について</p> <p>◆ 上郷地域バス</p> <p>(5) 路線評価に伴う路線改編について</p> <p>◆ 平成25年度の路線評価結果</p> <p>◆ 基幹バス（12路線）</p> <p>◆ 地域バス（1地域）</p> <p>【報告案件】</p> <p>(1) 平成25年度の利用状況について</p> <p>(2) 運行計画変更による増便の実績について</p> <p>(3) 藤岡地域バスの臨時運行について</p> <p>4 その他</p> <p>次回、会議の開催予定について</p> <p>5 閉 会</p>
日 時	平成25年12月26日（木） 10:00～12:00
場 所	豊田市役所 南庁舎5階 南51会議室

<p>出席者 (敬称略)</p>	<p><b>【委員】</b> 野田 宏治 (豊田工業高等専門学校)</p> <p>荻野 弘 (豊田工業高等専門学校)</p> <p>柴田 雅洋 (国土交通省中部地方整備局) (代理：金武)</p> <p>小林 博之 (国土交通省中部運輸局愛知運輸支局)</p> <p>古橋 昭 (愛知県地域振興部交通対策課) (代理：尾崎)</p> <p>下林 嘉之 (愛知県豊田加茂建設事務所)</p> <p>伊藤 豊明 (愛知県豊田加茂建設事務所足助支所)</p> <p>渡邊 純一 (愛知県警察 豊田警察署)</p> <p>高木 幹雄 (愛知県警察 足助警察署)</p> <p>加藤 泰 (豊田市都市整備部)</p> <p>佐藤 聖一 (豊田市区長会)</p> <p>鈴木 重郎 (豊田市老人クラブ連合会)</p> <p>澤田恵美子 (豊田市消費者グループ連絡会)</p> <p>土居 友二 (豊田商工会議所)</p> <p>湯谷 孝夫 (愛知県タクシー協会)</p> <p>小林 宏 (愛知県交通運輸産業労働組合協議会) (代理：木全)</p> <p>加藤 直樹 (名鉄バス株式会社) (代理：徳田)</p> <p>境 政義 (豊栄交通株式会社)</p> <p>安達 雄彦 (愛知環状鉄道株式会社)</p> <p><b>【事務局】</b> 豊田市 都市整備部交通政策課</p>
<p>資料</p>	<p>1. 次第・配席図</p> <p>2. 資料1～21：豊田市公共交通会議 平成25年度 第2回会議資料</p>

(要約)

### 3. 議事

#### 【協議案件】

#### (1) 鞍ヶ池公園園内周遊バスの車両変更について

- 事務局 資料1に基づき説明(緑の推進課)

(補足) 当該路線は、公園内遊具の一つであり、豊田市公共交通基本計画には位置づけされていない。道路運送法上のみなし4条路線であるため当会議に付議する。

- 委員 東海環状自動車道の鞍ヶ池PAに車を駐車し公園を利用する形態はあるか。また、その形態がある場合は、利用状況を教えてほしい。

- 事務局 鞍ヶ池PAに接続するパークトレインを使って周遊バスに接続できる。

実際の利用もある。平成24年度は、パークトレインが約4万2千人、周遊バスが約1万2千人で、パークトレインの利用者のほうが多い。

- 委員 高速道路を使った利用者が多いのであれば、広範囲の広報が効果的だと思うがどうか。
- 事務局 今後検討する。

#### (2) バス停の移設及び運行ダイヤの修正について

##### ◆ 稲武地域バス

- 事務局 資料2に基づき説明(稲武支所)

- 委員 設定ダイヤに誤りが生じたのはなぜか。また、実際にはどのダイヤをで運行していたのか。

- 事務局 平成24年12月の豊田市公共交通会議で付議したダイヤ改正の資料に誤りがあった。当該ダイヤの運用開始前に判明したため、正しいダイヤで運行を始めている。

#### (3) バス停の変更を伴わない運行経路の変更について

##### ◆ つくばねバス

- 事務局 資料3に基づき説明(猿投支所)

- 委員 バス停間距離が100m延長されることによる運賃の変更はあるか。

- 事務局 運賃の変更はない。

#### (4) 運行距離の変更について

##### ◆ 上郷地域バス(上郷支所)

- 事務局 資料4に基づき説明(上郷支所)

#### (5) 路線評価に伴う路線改編について

##### ◆ 平成25年度の路線評価結果

##### ◆ 基幹バス(12路線)

##### ◆ 地域バス(1地域)

- 事務局 資料5～18に基づき説明

- 委員 基幹バスの路線改編では、渋滞による遅れを考慮したダイヤとなっているが、混雑が解消された場合の時間調整はどのように行うか。また、系統新設の改編により、距離が

短くなる便については、国庫補助の対象から外れるが確認をしたか。

- 事務局 時間調整は、2車線以上の道路を選んで退避する。国庫補助については、減額金額を試算した。国庫補助の原資も税金であることを踏まえ効率化するという考え方である。
- 委員 資料7（豊田・渋谷線）について、全ての便が自然観察の森での乗降できないのか。この改編による運賃の変更はないか。
- 事務局 施設の開館時間及び周辺の状況を考慮し、経由しない時間帯がある。料金の変更はない。
- 委員 資料8（保見・豊田線）について、4月1日からバス停が新設されるが、国の手続きが完了すれば、すぐに設置できるのか。早期の設置を期待したい。
- 事務局 道路運送法上での国への手続きのほか、道路占用許可に4週間、道路使用許可に1週間地元への周知等を含めて時間を要するので、4月1日からの運用となる。
- 委員 資料14（中心市街地玄関口バス）について、東京からの来訪者にとよたエコフルタウンを案内できなかった。行き先表示が福祉センター行きのため分かりづらい。表示の仕方を工夫できないか。行き先案内にとよたエコフルタウン経由としてほしい。
- 事務局 豊田市駅でのわかりやすさであると思う。バス停には必要以上に物を置けないので、万人に分かりやすい表示と考えると答えが難しいが、分かりやすい表示を検討させていただきます。
- 委員 資料16（豊田東環状線）について、平日と土休日ダイヤを市内の企業活動に合わせたものに改編しているが、一般の利用者に分かりやすくする必要がある。高岡ふれあいバスはウィークデーなら祝日でも平日であったかと思うが、他路線との足並みも含めて、混乱はないか。
- 事務局 バス停留所の表記に工夫が必要であり、現在検討している。高岡ふれあいバスと異なり当該路線は、平日1,500~1,600人、土休日でも900人ほどの利用があり影響が大きい。分かりやすいダイヤとなるよう高岡ふれあいバスの事例も含め検討していく。
- 委員 資料18（福祉バス（若園コース））について、地域の声がなければ設定しない、あれば設定するという発想で良いか。人口カバー率95%を目標においてんバスはスタートしたのではないか。生活交通の確保が目的であるため、地域組織が育たないという理由での廃止は市としてどうか。市が組織を育成すべきではないか。
- 事務局 当該路線は、公共交通基本計画に位置付けられていない路線であり、目標を達成するための路線とは位置づけが異なる。市がお願いして走らせたコースである。誰もが乗れるものが公共交通、利用がなければ再度整理すべきだが、これがなければ廃止となる。基本計画においても、バスは地域で支えるものとされている。本地区も運営組織設置の話をしたが鉄道並行路線ということもあり、廃止の同意に至った。今後空白地域が生じ、地域からの声が上がれば、勉強会等のサポートをしていく。
- 委員 改編路線全般について、今後、地域へ周知するとの説明があったが、不確定の内容を公共交通会議に付議しているのか、調整はしているのか、今後どういう整理をしていくのか。
- 事務局 バス停の設置については、12月当初に公安協議、道路管理者への確認がとれている。また、地元には、地域区長会で説明している。事務局で説明している周知とは、広く市民に伝えるという意味である。
- 委員 市内で免許返納のアンケートを実施した際、バス停までの400mが歩けないとお叱りを受けた。動けなくなったら施設に入るしかないのか。良く考慮して新しい考えを出してほしい。

#### 【報告案件】

(1) 平成25年度の利用状況について

- 事務局 資料19に基づき説明

(2) 運行計画変更による増便の実績について

- 事務局 資料20に基づき説明

(3) 藤岡地域バスの臨時運行について

- 事務局 資料21に基づき説明
- 委員 大変良いイベントである。11月17日のイベント時にはどのようなダイヤで動いたか。
- 事務局 川口・飯野線については、運休日であったため、平日ダイヤを採用した。三箇線及び西市野々線については、土休日ダイヤで動いた。
- 委員 イベント時の輸送実績は、通常時に比べて多かったか。また、その後の利用者数に変化はあったか。
- 事務局 イベント時は、普段よりも利用者数が多かった。その後の利用者数の変化については現在分析中である。

【その他】

次回、会議の開催予定について

- 事務局 次回会議は、平成26年2月ごろに開催を予定している。